二〇一八年六月八日

薔薇アーチ父と腕組み通りぬけ　なおこ
梅漬ける無病息災願ひつつ　菜々

二〇一八年六月七日

夏服のナースの腕の若さかな　たか子
ぽつぽつと雨粒はねる若葉かな　敬和
万緑や矢のごと飛ぶは鳥の影　三刀

二〇一八年六月六日

クリスタルグラスに一茎額の花　はく子
曲線を描く植田に山写る　なおこ
屋形船竿さす先の花菖蒲　智恵子
夏野菜サラダ盛られしガラス鉢　満天
屋根越えて隣の庭の枇杷熟るる　菜々
道をゆく沢蟹川へ返しけり　なおこ

二〇一八年六月五日

本殿へ磴また磴や蟻のぼる　菜々
田に映るおのが姿へ苗を植う　明日香

二〇一八年六月四日

青葉洩る一条の日矢眩けり　隆松
ひろげたる幼の手より青蛙　ぽんこ
水満ちて夕日に染まる植田かな　愛正

二〇一八年六月三日

白無垢のおくるみの嬰青葉影　なつき
単線の鉄路狭めて四葩咲く　やよい
夜の厨青梅の香に満てりけり　さつき
外車へと消ゆ高僧の軽羅かな　せいじ

二〇一八年六月二日

三輪山の背ナより立ちし雲の峰　明日香
水墨画めく竹林の五月雨　よう子
紫陽花の毬に触れもす江ノ電車　智恵子

毎日句会みのる選・二〇一八年六月一〇日